



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月8日

上場会社名 株式会社フォーパルテレコム 上場取引所 東
コード番号 9445 URL <https://www.forvaltel.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 行 辰哉
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 山本 忠幸 TEL 03-6825-4086
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	5,316	△5.1	188	44.4	191	41.0	247	237.1
2025年3月期第1四半期	5,599	7.0	130	△28.9	135	△19.3	73	△26.6

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 247百万円 (237.7%) 2025年3月期第1四半期 73百万円 (△26.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	14.78	—
2025年3月期第1四半期	4.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	9,313	3,370	36.2
2025年3月期	10,362	3,320	32.0

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 3,370百万円 2025年3月期 3,320百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	8.00	—	12.00	20.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		10.00	—	13.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	25,000	△2.7	1,200	5.0	1,210	4.9	920	25.5
								54.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名) 株式会社トライ・エックス

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期1Q	16,757,700株	2025年3月期	16,757,700株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年3月期1Q	1,710株	2025年3月期	1,710株
------------	--------	----------	--------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期1Q	16,755,990株	2025年3月期1Q	16,755,990株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状況の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における経済環境は、継続的な物価の上昇や資源・エネルギー価格の変動、米国の貿易政策の動向による景気の下振れリスク等により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが中核的な事業領域とする情報通信分野では、移動系超高速ブロードバンド接続サービスの契約数が拡大し、ビジネスにおける効果的な活用や急増したデータ量への対応・セキュリティ対策が課題となっております。

このような環境の下で、当社グループは、法人向けVoIPサービス、法人向けFMC (Fixed Mobile Convergence) サービス、個人向けインターネットサービス等「IP & Mobileソリューション・ビジネス」と位置付ける利便性の高いサービスの拡販を中心に、中小法人及びコンシューマ向けの各種サービスを提供しております。

具体的には、当社においては、光回線サービス「iSmartひかり」、法人を対象とした光ファイバー対応IP電話「スマートひかり」及びスマートフォンを利用したFMCサービス「どこでもホン」、並びに個人を対象としたISPサービス「iSmart接続-Fひかり」を中心に、合わせて情報通信機器等を提供しております。

また、当社においては、法人顧客に登録小売電気事業者として「Elenovaでんき」及び登録ガス小売事業者として「Elenovaガス」を提供しており、本サービスを「ユーティリティ・ビジネス」と位置付けております。

また、当社及び当社連結子会社である㈱保険ステーションとタクトシステム㈱においては、主に法人顧客に対し「コンサルティング・ビジネス」を提供しております。

これらにより、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、連結範囲から2社の除外により、売上高が53億16百万円（前年同四半期比5.1%減）となったものの、主に「ユーティリティ・ビジネス」において、契約件数が堅調に伸びた事により、営業利益が1億88百万円（前年同四半期比44.4%増）、経常利益が1億91百万円（前年同四半期比41.0%増）、また当該除外の2社の株式売却益と合わせ、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億47百万円（前年同四半期比237.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

《IP & Mobileソリューション・ビジネス》

「IP & Mobileソリューション・ビジネス」は、VoIPサービス、モバイルサービス等の情報通信サービス全般を提供しております。前会計年度まで当セグメントを構成した連結子会社の除外及び個人を対象としたサービスの利用件数の減少等により、当第1四半期連結累計期間の売上高は23億50百万円（前年同四半期比10.0%減）となり、個人を対象としたサービスの利用件数の減少等により、セグメント利益は3億1百万円（前年同四半期比4.9%減）となりました。

《ユーティリティ・ビジネス》

「ユーティリティ・ビジネス」は、電力と都市ガスを提供しております。契約件数の堅調な伸びにより当第1四半期連結累計期間の売上高は20億78百万円（前年同四半期比8.5%増）、セグメント利益は1億79百万円（前年同四半期比40.5%増）となりました。

《コンサルティング・ビジネス》

「コンサルティング・ビジネス」は、経営支援コンサルティング、保険サービス、セキュリティサービス、コンテンツソリューション及びDXコンサルティング等を提供しております。コンテンツソリューション及びDXコンサルティングの販売計画の遅れにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は8億87百万円（前年同四半期比3.3%減）となったものの、保険サービスとクラウドサービスの伸長により、セグメント利益は44百万円（前年同四半期はセグメント損失1百万円）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は93億13百万円となり、前連結会計年度末比10億49百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金の減少（1億19百万円）、受取手形、売掛金及び契約資産の減少（8億58百万円）、未収入金の減少（74百万円）及び前払費用の減少（35百万円）によるものであります。

負債の残高は59億42百万円となり、前連結会計年度末比10億99百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少（3億58百万円）、未払法人税等の減少（2億15百万円）、賞与引当金の減少（1億22百万円）及び流動負債のその他の減少（2億50百万円）によるものであります。

純資産の残高は33億70百万円となり、前連結会計年度末比50百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び剰余金の配当によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月13日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	893,763	774,671
受取手形、売掛金及び契約資産	4,182,601	3,324,357
商品及び製品	61,847	52,974
仕掛品	19,383	19,378
原材料及び貯蔵品	182,114	259,921
未収入金	1,700,539	1,626,121
前払費用	697,338	662,169
その他	62,060	31,167
貸倒引当金	△70,584	△50,767
流動資産合計	7,729,064	6,699,993
固定資産		
有形固定資産	125,197	79,843
無形固定資産		
のれん	144,457	129,644
その他	959,199	911,562
無形固定資産合計	1,103,656	1,041,207
投資その他の資産		
長期前払費用	617,790	709,088
破産更生債権等	108,843	108,554
その他	778,099	773,074
貸倒引当金	△99,921	△98,633
投資その他の資産合計	1,404,812	1,492,083
固定資産合計	2,633,666	2,613,134
資産合計	10,362,730	9,313,128
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,022,895	2,664,223
未払金	2,631,659	2,570,392
未払法人税等	226,721	11,383
賞与引当金	171,549	49,103
役員賞与引当金	94,695	20,604
その他	650,115	399,828
流動負債合計	6,797,636	5,715,535
固定負債		
退職給付に係る負債	218,836	201,218
その他	25,726	25,561
固定負債合計	244,562	226,779
負債合計	7,042,199	5,942,315

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	553,660	553,660
資本剰余金	53,489	53,660
利益剰余金	2,714,001	2,764,112
自己株式	△620	△620
株主資本合計	3,320,530	3,370,812
純資産合計	3,320,530	3,370,812
負債純資産合計	10,362,730	9,313,128

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	5,599,738	5,316,743
売上原価	4,228,901	4,067,510
売上総利益	1,370,836	1,249,233
販売費及び一般管理費	1,240,378	1,060,897
営業利益	130,458	188,335
営業外収益		
受取利息	1	—
貸倒引当金戻入額	8	—
違約金収入	4,450	—
利用料収入	3,265	3,681
その他	1,363	1,202
営業外収益合計	9,089	4,883
営業外費用		
支払利息	3,064	650
貸倒引当金繰入額	—	48
長期前払費用除却損	—	1,219
その他	776	—
営業外費用合計	3,840	1,918
経常利益	135,707	191,300
特別利益		
子会社株式売却益	—	58,690
特別利益合計	—	58,690
特別損失		
固定資産除却損	0	2,878
特別損失合計	0	2,878
税金等調整前四半期純利益	135,707	247,112
法人税、住民税及び事業税	25,441	4,927
法人税等調整額	36,957	△5,395
法人税等合計	62,399	△468
四半期純利益	73,308	247,580
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△144	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	73,452	247,580

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	73,308	247,580
四半期包括利益	73,308	247,580
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	73,452	247,580
非支配株主に係る四半期包括利益	△144	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	IP & Mobile ソリューション・ ビジネス	ユーティ リティ・ ビジネス	コンサル ティング・ ビジネス	小計				
売上高								
顧客との契約から生 じる収益	2,611,132	1,915,843	918,283	5,445,259	154,479	5,599,738	—	5,599,738
外部顧客への売上高	2,611,132	1,915,843	918,283	5,445,259	154,479	5,599,738	—	5,599,738
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,952	—	27,991	33,944	1,622	35,566	△35,566	—
計	2,617,085	1,915,843	946,274	5,479,203	156,101	5,635,305	△35,566	5,599,738
セグメント利益又は 損失(△)	316,596	127,694	△1,217	443,073	△7,720	435,353	△304,895	130,458

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、当社の連結子会社であった株式会社トライ・エックスが行っていた「ドキュメントソリューション・ビジネス」であります。
2. セグメント利益の調整額△304,895千円には、セグメント間取引消去236千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△305,131千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門の一般管理費等であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	IP & Mobile ソリューション・ ビジネス	ユーティ リティ・ ビジネス	コンサル ティング・ ビジネス	小計				
売上高								
顧客との契約から生 じる収益	2,350,749	2,078,426	887,567	5,316,743	—	5,316,743	—	5,316,743
外部顧客への売上高	2,350,749	2,078,426	887,567	5,316,743	—	5,316,743	—	5,316,743
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,769	—	25,754	29,523	—	29,523	△29,523	—
計	2,354,518	2,078,426	913,322	5,346,267	—	5,346,267	△29,523	5,316,743
セグメント利益	301,027	179,350	44,790	525,168	—	525,168	△336,832	188,335

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、当社の連結子会社であつた株式会社トライ・エックスが行っていた「ドキュメントソリューション・ビジネス」であります。
2. セグメント利益の調整額△336,832千円には、セグメント間取引消去△2,046千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△334,785千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門の一般管理費等であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを変更しており、従来の「ドキュメントソリューション・ビジネス」を廃止し、「コンサルティング・ビジネス」にタクトシステム株式会社を統合しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分に基づき作成しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	82,373千円	85,341千円
のれんの償却額	14,812	14,812